

第 14 回子育て支援分科会開催報告

20.10.5.

分科会主査（代行）：八木英樹

開催日時	9月29日（金）15:00～16:20（Zoom）
参加者	東京大学・高齢社会総合研究機構（IOG）：3名、 町内会：3名、

1、コロナ禍対応のアンケート（回答者宛要約版報告資料）

荻野先生に、前回ご報告いただいた分析結果の中から、要約版をご提案いただき、その内容につき意見交換した。以下の形でまとめることになった。

- ・紙ベースの報告資料（モノクロ版）は作成せず、町内会の Web サイトに掲載し、その閲覧要請を丸山地区、大平山地区子供会から会員に Line で配信する。
- ・同時に、10月11日開催の役員会後の回覧資料に、同じ趣旨のお願い文書を加える。

2、子育てオープンハウス（町内会館）

- ・9月25日のオープンハウスは磯尾さんが現場で詰めて下さったが、参加者ゼロだった。再開したことを、町内50か所に手分けしてポスター（カラーA3判）を掲示したが、まだ十分浸透できていない。9月第4週の町内回覧で、告知資料（モノクロA4判、内容はポスターと同じ）を流す。

・鎌倉市ファミリーサポートセンター情報の提供

未就学児育児中の親にとって、鎌倉市ファミリーサポートセンター利用のノウハウを教える場として、オープンハウスが役立てば、価値があるのではないか。

鎌倉市ファミリーサポートセンターについて調べ、次回報告する。

3、コロナ禍の状況における子育て支援策の検討

今回のアンケート自由記述欄にあった要望---オンラインで子供を遊ばせる工夫が欲しい---にどう対応するか、意見交換した。

- ・町内会館に子供さんを集めての遊び、工作、勉強の補習は当分の間、実施困難。
- ・高瀬先生から、Zoomによる「ボトリウムの体験教室」のご提案があった。これを含め、次回の分科会で案を持ち寄り、検討する。

4、次回分科会

10月30日（金）9am～（Zoom）

以上